

# 2025年世界陸上競技選手権大会 大会運営組織の設立準備会 「中間の整理」の主なポイント

2025年世界陸上の成功には、都民・国民から信頼される、しっかりしたガバナンスを確保した大会運営組織の設立が必要不可欠である。

こうした組織の設立に向け、本準備会では、スポーツ団体の組織運営の原則・規範である「スポーツ団体ガバナンスコード」（令和元年スポーツ庁策定）を踏まえ、法律・会計の専門家の助言も得ながら議論、検討を行うこととした。

「スポーツ団体ガバナンスコード」では、適切な組織運営のための役員体制整備や、コンプライアンス強化の取組、法務・会計等体制の構築、適切な情報開示、基本計画の策定等の原則が示されている。

本準備会では、これらの原則を以下の3つの観点で整理し、必要に応じて原則を上回る内容も含め、取組を具体化することとした。

- A コンプライアンスに十分配慮した仕組みの構築
- B 主体的な情報発信
- C 開催ビジョンの作成

この度、これまでの議論・検討を踏まえ、現段階における取組の方向性について、今後の更なる検討事項も含め「中間の整理」としてとりまとめ、報告する。

## A コンプライアンスに十分配慮した仕組みの構築

### 1 役員等の体制整備（本文p.6-7）

<役員等選考委員会の設置>

- ▶外部専門家を含む多様な委員で構成

<役員等選任方針の策定>

- ▶役員等の選任を行うための方針を議論・策定

### 2 コンプライアンス委員会の設置、コンプライアンス教育の実施等（本文p.9-10）

- ▶弁護士、公認会計士等の外部専門家を含め構成
- ▶職員に加え役員へも継続的に教育を実施

### 3 法務、会計等の体制構築（本文p.11-14）

<契約・調達の管理>

- ▶適切な契約・調達制度を構築（一定金額以上の場合、入札制度適用等）
- ▶契約・調達管理委員会を設置（外部専門家も参画の上、収支両面において契約内容・プロセス等を監督）

<監査体制等>

- ▶内部監査/監事監査/会計監査人監査による「三様監査体制」を構築
- ▶重層的な第三者チェック（都など公的セクターの関与）を今後検討

### 4 利益相反取引の適切な管理（本文p.15-16）

- ▶利益相反取引に関し、役職員への継続的な教育や、取引の適正性を管理できる仕組みを今後検討

## B 主体的な情報発信

### 1 積極的な情報発信（本文p.18-19）

- ▶組織の重要な決定プロセスや社会的関心の高い事項について、主体的に発信

### 2 都民・国民が参画できる仕組み（意見聴取、大会参加等）を検討・構築（本文p.19）

### 3 情報公開の仕組みについて、公正性の担保を含め、今後検討（本文p.19）

- ▶原則公開を基本に、非公開とする必要がある情報については、その理由を含め整理
- ▶特に契約関係については、民間企業の経営上の視点含め公開可能範囲について整理
- ▶非公開情報についても公正性を担保する仕組みの構築を検討

## C 開催ビジョンの作成

- 大会運営組織として、大会の開催ビジョンを掲げた上で、ビジョンに基づき一貫した行動指針や各種計画を構築することが重要（本文p.21-28）
- 健康増進や共生社会の実現等、大会の意義・使命につながる視点も含め、議論・検討の上、ビジョンの方向性を整理 → 大会運営組織へ承継（本文p.21-28）

### 【最終報告に向けて】

今後、更なる検討が必要な課題について、専門家等へのヒアリングも行いながら議論・検討を進めるとともに、今月18日に国が立ち上げたPT（大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方検討プロジェクトチーム）や、都が今後立ち上げる有識者会議の検討状況も参考に、最終報告をとりまとめていく。